

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成24年9月20日

施設名	青少年体育館	所管課室	生涯学習課
-----	--------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用の許可に関する事 施設及び設備の維持管理に関する事 青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 主催事業を計画し、実施すること <p><平成23年度主催事業> 小学生スポーツ教室 (卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール) 初心者スポーツ教室 (ラージボール卓球) 共催スポーツ大会・教室 (小学生ドッジボール秋季大会、小学生男子バレーボール教室) 地域自主クラブスポーツ活動支援 (スカッシュバレー、卓球、バレーボール、バドミントン、ラージボール卓球)</p>
施設内容	青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1500席
職員体制	職員:館長1名 館長補佐1名 指導員3名 事務員1名 合計:6名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務

2. 収支の状況

		H22年度(決算)	H23年度(決算)	H24年度(予算)
収入	県支出金	37,010,744	37,015,195	36,945,000
	事業費収入	0	0	480,000
	収入計 (a)	37,010,744	37,015,195	37,425,000
支出	事業費	445,293	443,566	430,000
	管理運営費	16,174,026	16,470,770	16,222,000
	人件費	18,628,932	18,338,504	18,990,000
	消費税	1,762,493	1,762,685	1,783,000
	支出計 (b)	37,010,744	37,015,195	37,425,000
収入(a)-支出(b)		0	0	0
使用料収入		4,234,627	3,974,550	4,590,000

3 利用実績

(1) 利用団体数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
団体数	1,531	1,500	1,524	1,485	1,387	1,485

(2) 利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	63,745	70,970	66,088	66,691	57,810	65,061

4 業務の評価

項目	状況説明
① 利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学生を対象にした「小学生スポーツ教室」は、平成4年度から19年間継続して実施されており、施設の看板行事の一つとして、地域住民に浸透している。 現在、バドミントン、卓球など5種目が年間を通して実施されている。 ○スポーツに親しむ場づくり、仲間づくりを目的とした「スポーツ教室」は、ラージボール卓球を新たな種目に追加して、利用者増加に努めている。 ○自主クラブの育成と生涯スポーツへのきっかけづくりのために実施している「初心者スポーツ教室」のPRについて、これまでの県広報誌に加えて、高知新聞での広報も行った。 ○継続利用団体への職員訪問や、利用団体へのお礼のはがき送付などを通じて、施設利用者のリピーター確保につなげている。 ○インターンシップで、高知大学教育学部スポーツ科学コース学生2名を受け入れ指導を行った。この機会を通じて、高知大学との連携が生まれ、新たな利用者開拓につながった。
② 利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主クラブの育成と生涯スポーツへのきっかけづくりのために実施している「初心者スポーツ教室」は、利用者の希望を反映して、昨年度の卓球、バドミントンからラージボール卓球に変更した。 ○主催事業参加者全員と施設利用団体の代表者へのアンケート調査を通じて、利用者ニーズ等の把握に努めている。また、トレーニング室利用者に対しては、トレーニング方法等の指導やアドバイスを行うとともに、健康づくりに関するアンケートを行った。 ○県立スポーツ施設ポータルサイトで施設案内や施設の空き状況を情報提供している。 ○幼稚園、小学校の遠足での雨天時利用や休憩・昼食時の観客席開放など、利用状況等を考慮しながら、利用者ニーズに柔軟に対応している。 ○スポーツ指導者研修会に職員を参加させて、職員の資質・指導力向上に努めている。また、類似施設との情報交換に努めて、各職員がノウハウ取得や能力向上に努めている。
③ 施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊施設である伊野スポーツセンター、県立高知青少年の家と連携して、接遇や施設利用についてのPR方法などの工夫、改善に努めている。 ○ローテーション職場ならではの引き継ぎミスがないように、連絡事項は業務日誌に記載し、職員間で連絡を密にして業務に当たっている。 ○施設・設備を気持ちよく利用していただくために、一斉点検日を設けて、施設・器具の整備や清掃、定期的な点検、修理等に努めている。 ○トレーニング室の利用マナーや器具の使い方などの講習を修了した方の登録を行い、利用者証を発行している。その結果、利用者のマナーが良くなり、施設や器具の安全な利用が保たれている。(平成22年度登録者292人、延べ1,237人) ○アリーナ内の清掃、電球の交換、施設敷地内の雑草の草刈や施設周辺のコンクリート壁のコケを取り除くなど職員が行い、経費節減に努めている。
④ 利用実績	<p>○いくつかのスポーツ大会が別施設に変更になったことにより、平成22年度と比較して、利用団体数は98団体減少(▲6.7%)、利用者数は8,881人減少(▲13.3%)した。</p>

⑤収支の状況	<p>○利用者数の減少により、平成22年度と比較して、使用料収入は260千円の減収となった。</p> <p>○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に4,805円返還)</p> <p>平成23年度決算額 37,015,195円</p>
総合評価	<p>○各種スポーツ教室は利用者ニーズを反映して、毎年種目を変更するなどの工夫を行い、利用者の拡大に努めている。</p> <p>○県が主催するスポーツ指導者研修会に毎年職員を参加させて、職員の資質・指導力の向上を図っている。また、職員自らも他施設との情報交換を行い、指導者としてのノウハウの取得に努めている。</p> <p>○筋力アップや健康づくりの講習会の開催について、トレーニング室利用者に対してアンケートを実施し、利用者サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>○今後、更なる向上を目指して、以下の取組みを強化してもらいたい。</p> <p>①利用者減の原因分析を十分に行い、その対策を講じ、月ごとの利用団体及び利用者拡大の目標を立てるとともに、高齢者向けの健康教室、高知青少年の家と連携した社会教育事業など、新たな事業展開を検討して、利用者の拡大を図ること。</p> <p>②隣接する高知青少年の家、伊野スポーツセンター(法人所有)との新たな連携事業を行うなど、施設の立地環境を活かした事業運営を行い、利用者の拡大に取り組むこと。</p> <p>③ホームページ情報の定期更新を行うとともに、高知青少年の家及び伊野スポーツセンターとの連携をさらに深めるなど、施設の特色を活かした情報発信を行うこと。</p> <p>④利用者の利便性の向上を図るため、インターネット利用予約の導入を検討すること。</p>

B

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの